

津軽は魅力いっぱい

黒石・田舎館モニターバスツアー



遺跡、街並み、食満喫

10年12月
来るぞ 新幹線

りんこのふもと
シャトルバス運営協
議会主催の津軽地域
モニターバスツアー
が24日、黒石市と田
舎館村をコースに行
われ、津軽各地の参
加者が中町こみせ通
りでまち歩きを体験
し、津軽が持つ魅力
を見つめ直した。

ツアーは、東北新幹
線全線開業に向けて広
域的なバスコースを開
発することも、地元
木造アーケードが連な
る黒石のこみせ通りを
散策するツアーの一行

の人に地元の魅力を知
ってもらう目的で行っ
た。関係者を含む約30
人が参加した。

一行を乗せたバスは
JR弘前駅から出発。
田舎館村埋蔵文化財セ
ンターを訪ね、約20
00年前の水田跡の上
を散策。土器を手にと
り重さや触り心地を確
かめ、弥生人の暮らし
に思いをはせた。

黒石市のこみせ通り
では、昔の子供たちの
おやつだった新聞焼き
そばを味わい、昔語り
と津軽三味線にしづく
り耳を傾けた。黒石水
めぐりとして、八甲田
山系の伏流水を使って

いる造り酒屋や各商店
に立ち寄り、おいし
い水を試飲した。
参加者はこみせが連
なる景観に浸り、火の
見やぐらのある消防屯
所も見学。昼食は名物
のつゆ焼きそば、アザ

イトに地元菓子店のス
イーツを味わった。
ツアーは冬季観光向
けとして弘前・西目
屋、大鰐・碓ヶ関で行
われ、今回の黒石・田
舎館が最終コース。同
協議会事務局の弘前市
観光物産課の桜田宏課
長補佐は「参加者の感
想を聞けば、住民が地
元を知りたいという二
ースがあると手応えを
感じた。まだまだ津軽
には魅力がたくさんあ
る。新幹線全線開業ま
でにこういう機会を増
やしたい」と話した。